





はじめに

本市は、石川のせせらぎや田園地域などの恵みと沢山のみどりに包まれ、自然環境と暮らしが調和し、古くから南河内地域の経済・文化の中心都市として栄え、近年は公共施設の整備水準も高く大阪市近郊の住宅都市として成熟しつつあります。

21世紀になり、右肩上がりの経済成長も終焉するとともに、日本の総人口も戦後初めて減少するなど社会経済状況の構造的な変化は社会の大きな底流となっています。また、自治体を取り巻く情勢は、少子・高齢化や地方分権の推進により今までの行政運営のあり方やしくみに抜本的な転換を求めています。さらに、地球環境問題や東南海・南海地震等の災害リスクの対処など、課題は山積しています。

このような中で、市民が安心していきいきと暮らせるよう、長期的なまちづくりの計画として第4次富田林市総合計画を策定しました。

計画策定に当たりましては、市民参加を積極的に取り入れるとともに、総合計画審議会の審議過程も全て公開し、透明性の確保に努めてまいりました。

本計画は、市民がまちづくりの主役として積極的に参画・協働・連携できる環境づくりを進め、子や孫の世代までもが生まれてよかった、住み続けていたいと思える魅力あるまちづくりを進めることを理念としております。

今後、本計画に基づく新たな富田林の創造に向け尽力をつくしてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりまして熱心かつ慎重にご審議いただきました総合計画審議会委員の皆様をはじめ、市議会ならびに市民の皆様は心より厚くお礼を申し上げます。

平成19年3月

富田林市長 **多田利喜**